

# 不明なヘッダーとオプションをプロキシするためのBW ASの設定

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、不明なSIPヘッダーまたはRequire/Supportedパラメータをプロキシするために、BW ASでプロキシポリシーを設定する方法について説明します。

## 前提条件

- セッション開始プロトコル(SIP)に関する基本的な知識
- 基本的なアプリケーションサーバ(AS)の知識
- Broadworks(BW)bwcliの基本知識

## 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- AS bwcliを管理ユーザとして使用できる
- AS XSLogsを確認できるようにする
- ヘッダーとRequire/Supportedパラメータを設定できる ( クライアントまたはシミュレータ経由の ) INVITEを生成します。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco BWのAS

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して

ください。

## 背景説明

Back-to-Back User Agent(B2BUA)として、ASは通常、SIPヘッダーまたはRequireヘッダーとSupportedヘッダーのパラメータが不明と見なされる場合、これらをプロキシしません。

たとえば、ASがこのSIP INVITEを受信すると、Supportedヘッダー内のヘッダーMyUnknownHeaderとパラメータMyUnknownParameterの全体が廃棄されます。

```
INVITE sip:+1555123456@cisco.com;user=phone SIP/2.0
Via: SIP/2.0/TCP 10.1.2.3:5060;branch=z9hG4bKva8in830cgv4i2mj6m20.1
Max-Forwards: 69
To: <sip:+1555123456@cisco.com;user=phone>
From: <sip:+1555654321@cisco.com;user=phone>;tag=SDq4k7b01-1
Contact: <sip:+155565432@172.16.0.1:5060;transport=tcp>
Call-ID: Testcall-456000001
CSeq: 101 INVITE
Supported: 100rel,MyUnknownParameter
MyUnknownHeader: MyStuff
Allow: INVITE, OPTIONS, BYE, CANCEL, ACK, PRACK, UPDATE, REFER, SUBSCRIBE, NOTIFY, INFO, REGISTER
Content-Length: 0
```

ASのProxyPolicy設定を使用すると、不明なヘッダーおよびパラメータがASによって透過的にプロキシされるように設定できます。

『[Cisco BroadWorks SIP Access Interface Interworking Guide](#)』には、既知のヘッダーとパラメータのリストが記載されており、ASがそれら进行处理する際に透過的にプロキシすることはできません。

既知のヘッダーとパラメータは処理され、（AS処理の結果に応じて）プロキシ可能またはプロキシ不可能です。また、この記事で説明する設定では制御できません。

## 設定

ProxyPolicyに必要なすべての設定は、AS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy>のbwcliで確認できます。

ASがヘッダーMyUnknownHeaderをプロキシできるようにするには、まずAS bwcliからAS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/Rule>に移動し、新しいルールを追加します。

```
<#root>
```

```
AS_CLI>
```

```
cd /Interface/SIP/ProxyPolicy/Rule
```

```
AS_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/Rule>
```

```
add MyUnknownHeaderRule true true true true true true true true
```

```
...Done
```

getコマンドを実行して、現在の設定を表示します。

現在の設定は次のようになります ( 多くのオプションがあるため、このコマンドの出力の幅は非常に大きく、完全に表示するには水平にスクロールします ) 。

```
<#root>
```

```
AS_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/Rule>
```

```
get
```

```
Rule Name Keep On Redirection Keep On Egress Access Keep On Egress Network On-net Keep On Egress Network
=====
MyUnknownHeaderRule          true                               true                               true
```

これが完了したら、HeaderPolicyを作成する必要があります。

AS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/HeaderPolicy>に移動して、次のコマンドを実行します。

```
<#root>
```

```
AS_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/HeaderPolicy>
```

```
add MyUnknownHeader MyUnknownHeaderRule
```

```
...Done
```

この例では、すべての方向、すべてのサービス、およびリダイレクトuriでヘッダーを保持するようにルールが設定されていますが、この設定は実際のケースによって異なります。

使用可能なオプションについては、次のリストで説明します。

- keepOnRedirection : このパラメーターは、リダイレクトの場合にヘッダーを保持するかどうかを決定します。
- keepOnEgressAccess : このパラメータは、アクセス側への発信メッセージ用にヘッダーを保持するかどうかを決定します。
- keepOnEgressNetworkOnNet : このパラメータは、ネットワークにバインドされた発信オンネットメッセージにヘッダーを伝播するかどうかを決定します。
- keepOnEgressNetworkOffNet : このパラメータは、ネットワークにバインドされた発信オフネットメッセージにヘッダーを伝播するかどうかを決定します。
- keepOnEgressAccessSharedCallAppearance : このパラメータは、共有コールアピラン

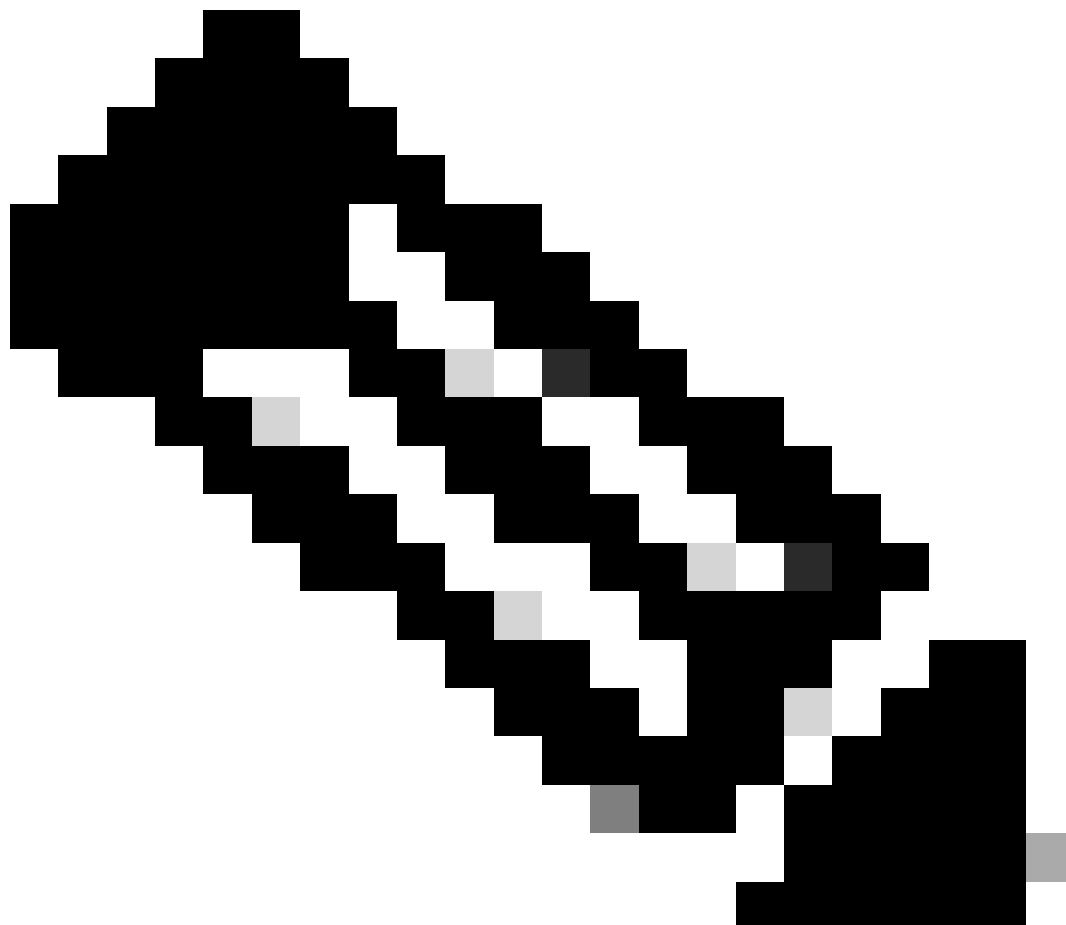
スのセカンダリロケーションへの発信メッセージ用にヘッダーを保持するかどうかを決定します。

- keepOnEgressNetworkBroadWorksAnywhereOnNet：このパラメータは、BroadWorks Anywhereの場所にオンネットメッセージを送信するためにヘッダーを保持するかどうかを決定します。
- keepOnEgressNetworkBroadWorksAnywhereOffNet：このパラメータは、BroadWorks Anywhereの場所にオフネットメッセージを送信するためにヘッダーを保持するかどうかを決定します。
- acceptFromRedirectToURI：このパラメータは、リダイレクト先URIに埋め込まれた不明なヘッダーが送信メッセージへの挿入を受け入れることができるかどうかを決定します。

不明なパラメータも同じ方法で設定できますが、パラメータは  
AS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/OptionTagPolicy>で設定します。

まず、ルールを作成します。

---



注：この例では、最初のスイッチがfalseに設定されています。

---

<#root>

AS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/Rule>

add MyUnknownParameterRule false true true true true true true

これは、Keep On Redirectionがfalseに設定された結果のルールであるため、リダイレクトの場合にMyUnknownHeaderは発信INVITEに追加されません。

<#root>

AS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/Rule>

get

| Rule Name              | Keep On Redirection | Keep On Egress Access | Keep On Egress Network On-net | Keep On Egress Network |
|------------------------|---------------------|-----------------------|-------------------------------|------------------------|
| MyUnknownHeaderRule    | true                | true                  | true                          |                        |
| MyUnknownParameterRule | false               | true                  | true                          |                        |

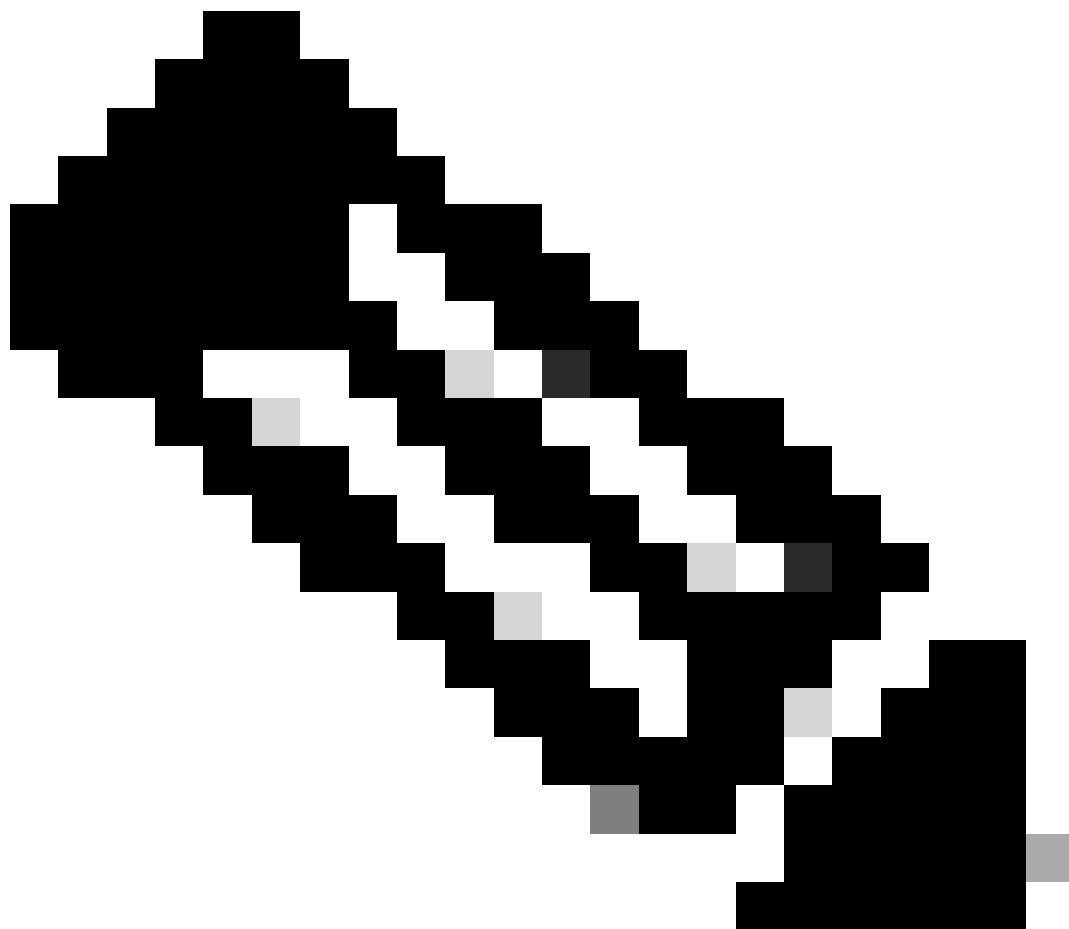
設定を完了するには、OptionTagPolicyを追加します。

<#root>

AS\_CLI/Interface/SIP/ProxyPolicy/OptionTagPolicy>

add MyUnknownParameter MyUnknownParameterRule

ASは、不明なヘッダーMyUnknownHeaderと不明なパラメータMyUnknownParameterをプロキシするようになります。



注:ASはセマンティックを理解せず、不明なヘッダーとパラメータを処理しません。

## 確認

プロキシポリシーで設定した不明なSIPヘッダーとオプションタグを含むINVITEをASに送信し、発信INVITEがルール設定に従って不明なヘッダーを保持していることを確認します。

## トラブルシュート

発信INVITEに予期したとおりにヘッダーまたはオプションタグが含まれていない場合は、次のリストを確認できます。

- 設定したヘッダーまたはパラメータが、既知のヘッダー/パラメータのリストに含まれていないことを確認します。
- INVITEのヘッダーまたはパラメータが、bwcliで設定されているヘッダーまたはパラメータと正確に一致していることを確認します ( 大文字と小文字は区別されません )。

- 設定したルールでヘッダーまたはパラメータのプロキシが許可されることを確認します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。